

令和8年度
グリーンスローモビリティ実証実験
大谷口地区(細野自治協力会)
第1回ワークショップ

日時：令和8年7月2日（木）14時00分～
場所：細野自治会館

次 第

1. 開会挨拶
2. 事業趣旨について . . . 資料 1
 - 背景・趣旨・目的
3. 運行内容(案)について . . . 資料 2
 - 応募目的【自治会より】
 - ルート設定【自治会より】

確認事項①：ルート案で示す以下の内容で検討を進めて良いか

 - ・移動ニーズ（目的地・ターゲット）
 - ・運行ルート（コンセプト）
 - ダイヤ設定方法

確認事項②：以下の内容で運転手・地域サポーターの負担は問題ないか

 - ・運行日は平日のみ
 - ・運行時間帯は9時～15時（各便10分休憩、昼1時間休憩）
 - ・運行頻度・方法（1時間で北側・南側を交互に1周）
4. 停留所の設置について . . . 資料 3
 - 停留所の設置許可の役割分担
 - 停留所の設置における留意点

確認事項③：停留所の間隔と設置場所は安全で利用しやすい位置か
5. 今後について . . . 資料 4
 - 今後のスケジュール
 - 第2回ワークショップに向けた準備等

依頼事項①：市作成のチラシを8月回覧で全戸配布（9月回覧で2回目配布）

依頼事項②：停留所の許可取り（自治会担当分）【目安7/15まで】

依頼事項③：ボランティア（運転手・地域サポーター）の募集
6. その他
 - ボランティアスタッフ（運転手・地域サポーター）の募集状況
7. 閉会挨拶

(配布資料)

次第

資料 1	事業趣旨について
資料 2－1	運行内容(案)について
資料 2－2	ダイヤの設定方法について
資料 2－3	ルート案（①ルート図、②圏域・状況図、③ダイヤ案）
資料 3	停留所について
資料 4	今後について

(1) 事業背景・趣旨・目的

①事業背景

さいたま市の高齢者（65歳以上）は30万人を超え、今後も増加が見込まれます。これに伴い自家用車を運転できない方や公共交通機関の利用が困難な方（交通弱者）の増加が予測されています。

現在、本市では公共交通サービスの確保・維持に向けて取り組んでおり、新型コロナウイルス流行前の水準まで公共交通利用者数が回復傾向にあります。

一方、生産年齢人口の減少や働き方改革によるドライバー不足、人件費・燃料費の高騰による収支採算性の悪化等により、従来型の公共交通サービスの維持が困難な状況となっています。

事業趣旨について

②事業目的

持続可能な移動手段の確保を図るため、運転手の手配や事業運営を地域が担う共助の取り組みとして、地域特性を踏まえた導入効果や運営方法の課題検証を行います。

また、事業運営費や効果等を踏まえた費用対効果、継続可能性等を把握し、適切な事業のあり方について検証を行います。

③事業全体像

本事業は、グリーンスローモビリティの運行を希望する地域・団体を公募し、選定された団体が主体的に実施するです。市は、申請団体に対して以下の支援を行います。

- グリーンスローモビリティ車両の手配・貸与
- 運行計画のブラッシュアップ等、実証実験に向けた技術的助言や支援

事業趣旨について

(2) グリーンスローモビリティの特徴

グリーンスローモビリティ（略してグリスロ）は時速20km未満で公道を走ることができる
電動車を活用した小さな移動サービスであり、その車両も含めた総称です

1 Green

電動車を活用した環境に優しいエコな移動サービス

2 Slow

景色を楽しむ、生活道路に向く、重大事故発生を抑制

3 その他

同じ定員の車両と比べて小型、開放感がある、乗降しやすい等

【今回の実証実験で使用するグリスロ（ヤマハ社製7人乗り）】



【従来の公共交通】

- ・はやく
- ・時間通りに
- ・遠くまで



【グリーンスローモビリティ】

- ・ゆっくりと
- ・余裕をもって
- ・近くまで

資料：ヤマハ発動機ホームページ

事業趣旨について

(2) グリーンスローモビリティの特徴

小型なので狭い道でもスイスイ



電動車なので坂道も楽々



事業趣旨について

(2) グリーンスローモビリティの特徴 低床・オープン・ルーフ高で楽々と乗り降り



幹線道路等を横断する際は信号交差点で
※警察からも指示あり



事業趣旨について

(2) グリーンスローモビリティの特徴

低速なので幹線道路を長い区間運行するのは苦手（渋滞や強引な追い越しを誘発）

※ 警察からも指示あり



事業趣旨について

(3) 本日の進め方

運行計画を作成するにあたり、皆様からの**ご意見が必要**となります。
確認事項では、皆様に**ご意見を伺います**。下記の点をご覧くださいながら、**積極的なご参加**をお願いします。

①自分と違う意見にも耳を傾けてみましょう

- ・ 自分とは違う考え方や意見を知ることが出来るのもワークショップの醍醐味です
- ・ 考えやその背景を知ること、「なるほど」といった新しい発見に繋がるかもしれません

②思ったことや感じたことは積極的に発言しよう

- ・ 思うことや感じるがあれば、積極的に意見を共有しましょう
- ・ 共有する際は、他の人の発表を遮らないよう、タイミングは注意しましょう

事業趣旨について

(4) 本日の到達目標

- ① 運行ルート確定（危険個所の確認）
- ② 目的地、停留所候補地の確認
- ③ 運行スケジュール、運行頻度、時間帯の確認

事業趣旨について

(5) 本日のスケジュールについて

タイムテーブル	プログラム
14:00-14:05 (5分程度)	・ 事務局スタッフの紹介
14:05-14:10 (5分程度)	・ 今回の実証実験の主旨・目的の説明
14:10-15:10 (60分程度)	・ 運行内容(案)について 応募目的【自治会より】 ルート設定【自治会より】(確認事項①) ダイヤ設定【市】(確認事項②)
15:10-15:30 (20分程度)	・ 停留所の設置について(確認事項③)
15:30-15:45 (15分程度)	・ 今後について 今後のスケジュール 第2回ワークショップに向けた準備等 ・ その他
15:45	・ 閉会

（１）応募目的

１．大谷口地区が抱える課題

- ・ 70歳以上が約800名、要支援者が約110名と高齢化が進行(細野自治協力会)
- ・ 買い物、通院、バス停までの移動が困難な状況
- ・ バス停は周辺にあるものの、鉄道駅までの距離が遠い
- ・ 交通利便性が低い

２．グリーンスローモビリティ実証実験への応募理由

- ・ 交通空白地区から脱却するため
- ・ 買い物やバス停等、生活圏内の移動手段が不足している高齢者への支援をするため

３．実証実験を通しての目的・狙い

- ・ 日常的な外出（買い物・通院等）の利便性向上
- ・ 地域内の移動手段確保による生活の質の向上
- ・ グリスロが地域の課題解決につながるか確かめるため

運行内容（案）について

（２）ルート設定

1. 目的地について

- ・スーパー（サミット、ビッグエー）
- ・公共施設（谷田公民館、細野自治会館）
- ・病院（虹クリニック、浦和中央眼科）
- ・バス停

2. ターゲット(特にご利用いただきたい方)について

- ・休憩なしで300m歩くことができない高齢者
- ・家族等の送迎手段がない高齢者

3. コンセプトについて

- ・買い物とバス停への接続

4. ルートによって満たされるニーズについて

- ・買い物に行きやすくなる
- ・歩くより、遠くまで行くことが出来る

5. ルート設定で意識した点について

- ・安全第一
- ・目的地を最短で結ぶ
- ・停留所へのアクセス

確認事項①：

運行ルート（資料2-3-①②）で示す以下の内容で検討を進めて良いかご確認ください。

- ・移動ニーズ（目的地・ターゲット）
- ・運行ルート（コンセプト）

ダイヤの設定方法について

資料 2 - 2

WS1_大谷口

【速度設定について】

- ・ 北側ルート：時速 8 km/h
- ・ 南側ルート：時速 9 km/h

設定理由

北側:道路幅員が狭く見通しが十分でない区間の運行、すれ違い、停留所での乗車時間を考慮し、より低速で設定

南側:令和7年度の実証実験と同様に設定

(参考)令和7年度の実証実験は、道路幅員が比較的広く、見通しのよいルートであったため、時速9kmで設定

【休憩時間について】

- ・ 北側ルート運行終了後に、10分間の小休憩
- ・ 南側ルートの運行終了後に、16分間の休憩

設定理由

安全面での考慮：長時間運転による疲労対策

遅延等によるダイヤの乱れに対して、時間調整をするため

停留所	第1便	第2便
①細野自治会館	9:00	10:00
②大谷口細野公園	9:01	10:01
③谷田公民館	9:04	10:04
④サミット	9:06	10:06
⑤細野西	9:09	10:09
⑥坊の在家バス停南	9:12	10:12
⑦細野中央	9:16	10:16
①細野自治会館	9:20	10:20
小休憩(10分)		
①細野自治会館	9:30	10:30
⑧ビッグ・エー	9:32	10:32
⑨篠堤公園	9:35	10:35
⑩ファミリーマート	9:37	10:37
①細野自治会館	9:44	10:44
休憩(16分)		

ダイヤの設定方法について

確認事項②：以下の内容で運転手・地域サポーターの負担は問題ないか

【運行日について】

・運行日は平日のみ

【運行時間帯について】

・運行時間帯は9時～15時（各便10分休憩、昼 1 時間休憩

（ポイント）

安全面：警察からも通学時間帯の事故、通勤時間の交通量や通過交通への配慮

目的地の時間：サミット（営業開始9時から）、公民館（開館9時から）

【運行頻度について】

・運行頻度・方法（1 時間で北側、南側を交互に 1 周）

（ポイント）

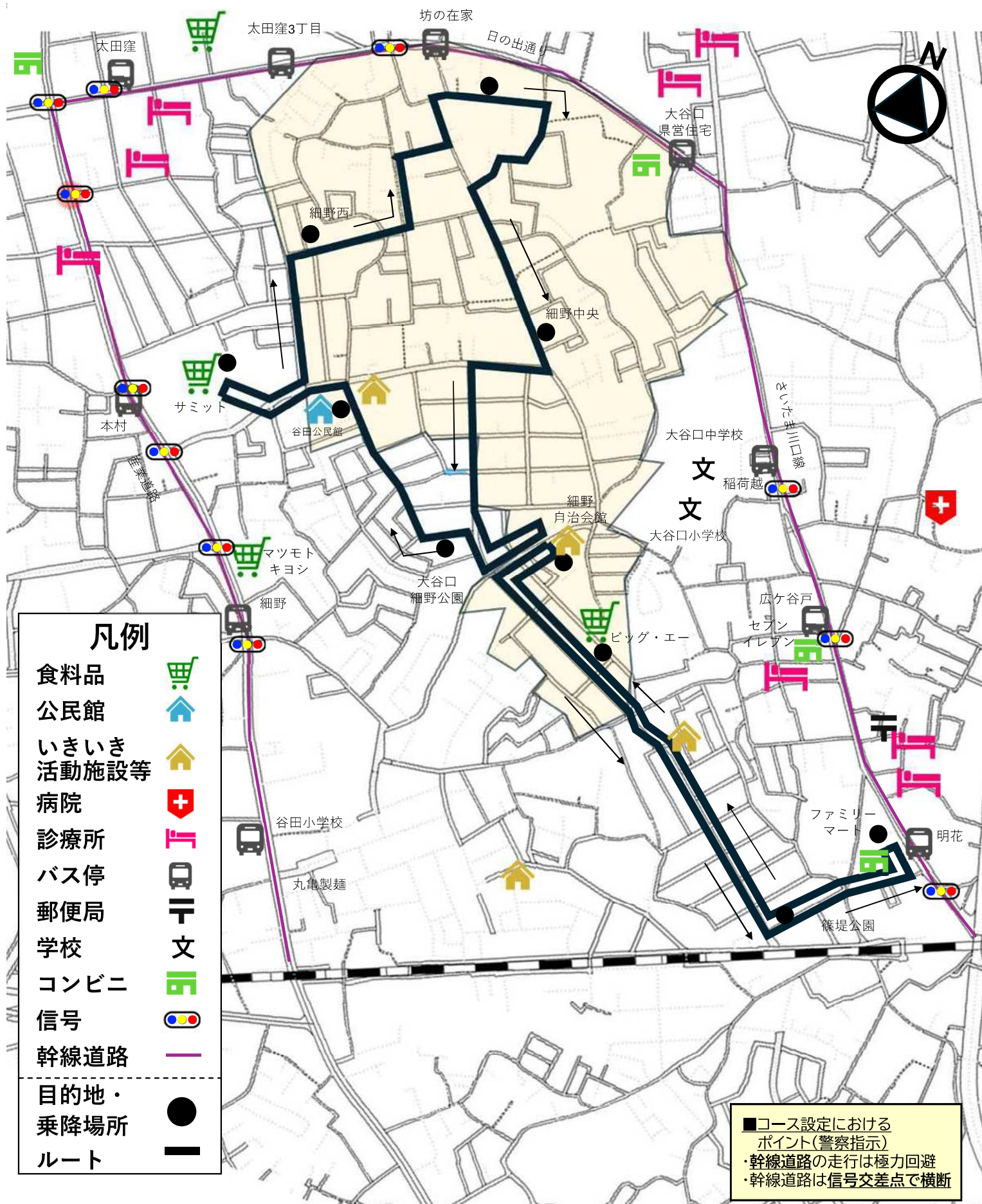
メリット：わかりやすいダイヤを組むことができる

デメリット：乗りそびれた場合に、次の便が 1 時間後になる

大谷口地区ルート案

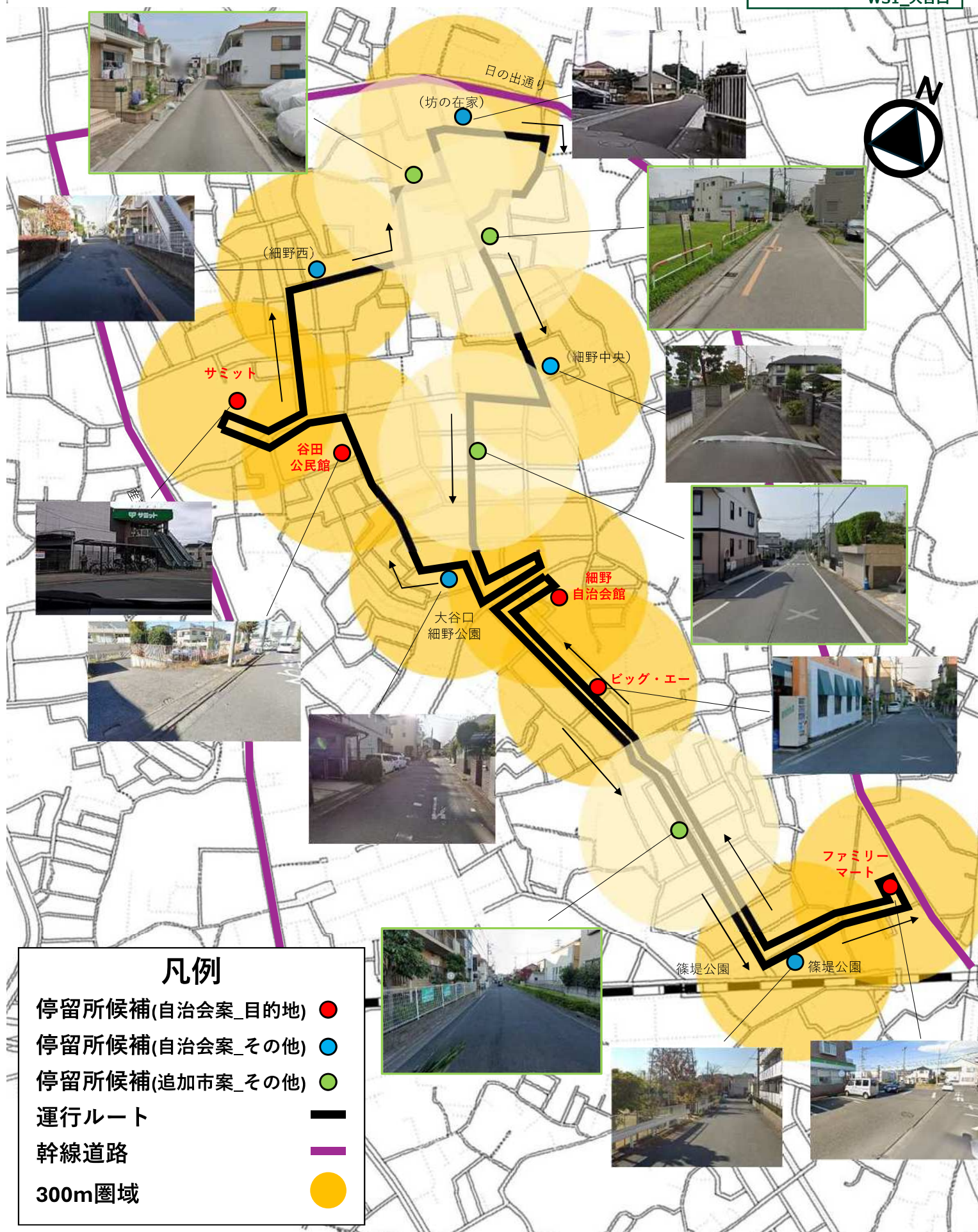
資料2-3-①

WS1_大谷口



大谷口地区ルート案（停留所圏域・状況）

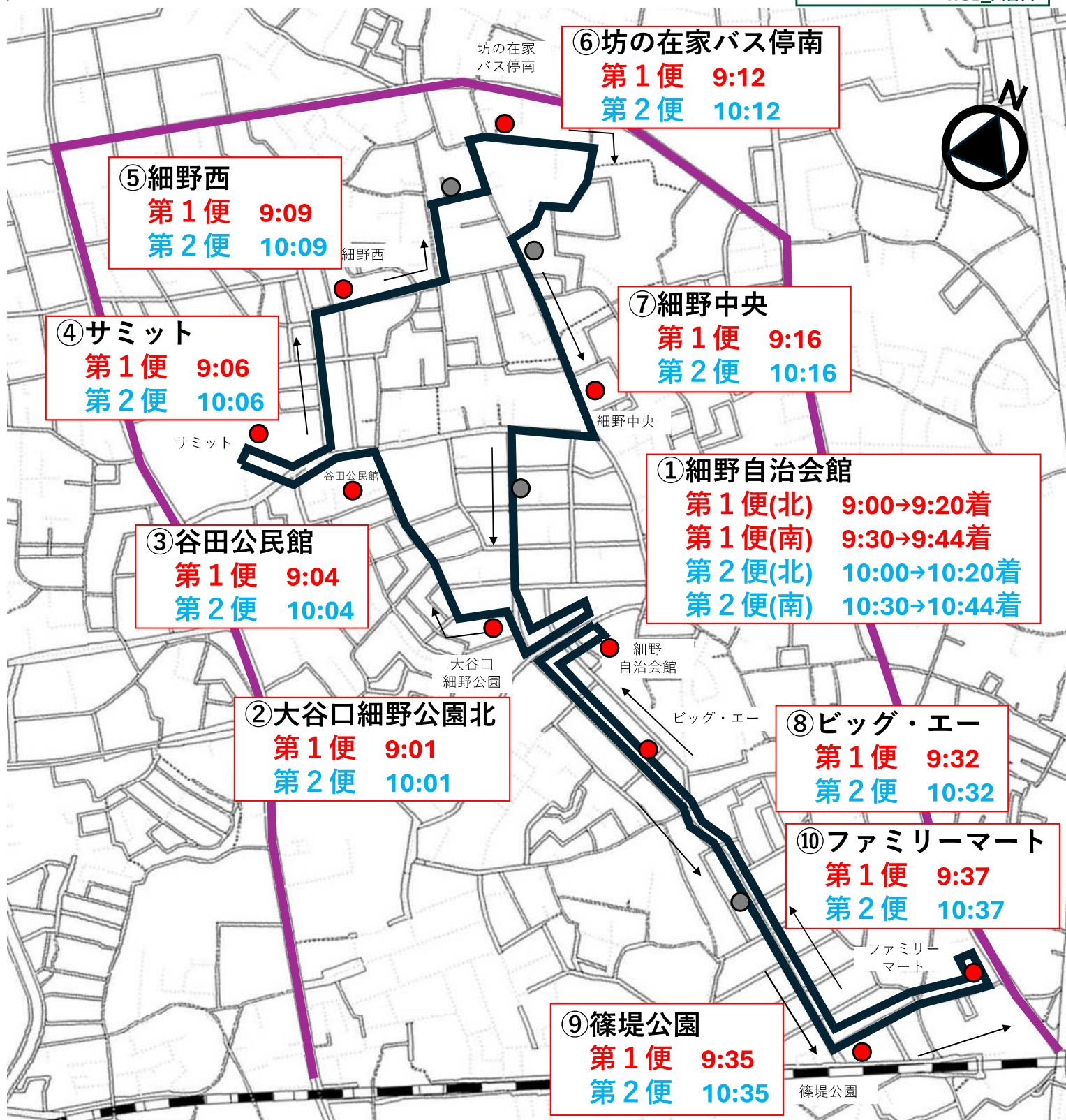
資料 2-3-②
WS1_大谷口



大谷口地区ルート案（ダイヤ案）

資料2-3-③

WS1_大谷口



ダイヤについて

- ・北側ルート
距離：2.66km 時速：8km
- ・南側ルート
距離：2.08km 時速：9km

休憩時間について

- ・北側、南側周回後①でそれぞれ休憩
⑦→①→⑧：10分
⑧→①→②：16分

停留所の設置について

■ 停留所の設置の役割分担

- ・ 停留所の地権者交渉は、**担当割（右下の表）**にて、お願いします
- ・ 設置箇所は、工作物（フェンス、建物壁面等）で、お願いします。（電柱は原則設置できません）
- ・ 設置許可や協力は、**必ず所有者へ確認**するよう、お願いいたします。また、設置・撤去に際して、キズや下地の剥がれ等が生じる場合がある点もトラブル防止のため、事前にご説明してください
- ・ 停留所サインの**設置（取付）・撤去も 表1担当割**にて、お願いします
- ・ 必要な物品は市がご用意します。 ※停留所の掲示物（ラミネート済み）、テープ、結束バンド等

フェンス



車止め柵



樹木



外壁



ガラス



看板



▼表1 担当割

【市担当】

- ・ 公共施設(例:公民館,保育園)
- ・ 公用地(例:公園)
- ・ 商業施設(例:コンビニ,スーパー)

※地域と店のつながりがない場合
(サミットは市で対応予定)

【自治会担当】

- ・ 住宅
- ・ 商業施設

停留所の設置について

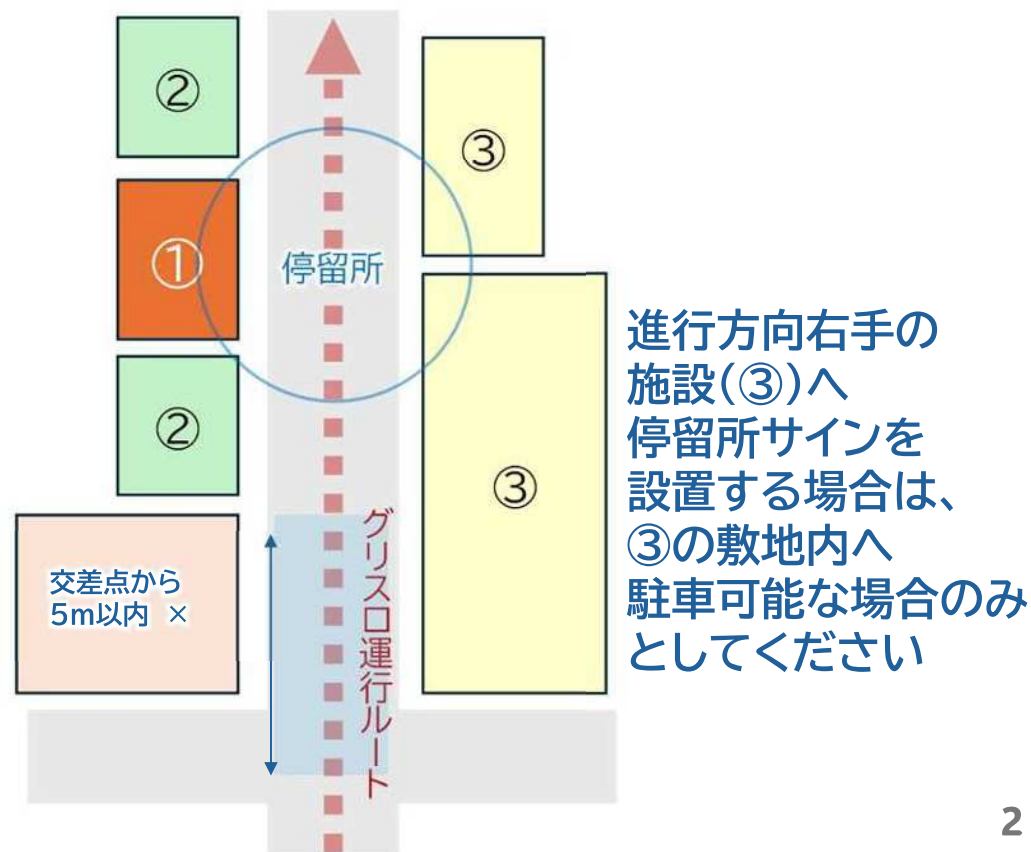
■ 停留所の設置場所のルール（考え方）

① 乗降場所が交差点に近接していないか

- 交差点より5m以内への駐停車は禁止されていますので、交差点から十分離れた位置への停留所設置をお願いいたします

② 停留所サインを進行方向右手側に設置していないか

- グリズ口をはじめ、公共交通は車両左側からの乗車・降車が基本となります
- そのため、進行方向左手側への停留所サインの設置をご検討ください
- ただし、車両停車位置（利用者の乗降場所）が敷地内へ設置出来る場合は、右手側へ停留所を設置しても構いません



停留所の設置について

③法律で禁止されている行為（道路交通法第44条第1項 停車および駐車を禁止する場所）

- × 交差点、およびその側端から5m以内の部分
- × 横断歩道または自転車横断帯、およびそれらの前後の側端からそれぞれ前後5 m以内の部分
- × 踏切、およびその前後の側端からそれぞれ前後に10 m以内の部分
- × 軌道敷内
- × 坂の頂上付近
- × 勾配の急な坂
- × 道路のまがり角から5 m以内の部分
- × 安全地帯の左側の部分、およびその前後の側端からそれぞれ前後に10 m以内の部分
- × バス、路面電車の停留所の標示板（柱）の位置から10 m以内の部分（運行時間中に限る）

④その他

- ・ 運行開始日の1～2週間前から設置を予定しています。（約1ヶ月間貼り付けのご協力が必要）
- ・ 畑や植栽への設置については、要相談になります。（杭等の設置による掲示を想定しています）
- ・ 設置後、定期的に地域の皆様で確認していただき、必要に応じて補修をお願いします

停留所の設置について

【停留所場所の整理について】

- 各停留所について、設置許可を頂いた場所の「**停留所名**」「**停留所サインの添架位置(住所)**」「**相手の氏名・電話番号**」等の整理をお願いします。
- 上記事項をベース資料①に記入し、**7/15(水)まで**にご報告をお願いします。(ベース資料①は後日お渡しします)

No	停留所名	住所	調整担当		確認結果 (○印)		備考	確認相手	連絡先	設置時の声掛け (○印)		許諾日
例	彩の国すこやかプラザ	南区●●●-●-●	さいたま市	成田	○OK	NG	●/● 電話で確認済	●●さん	●●-●●●-●●●●	○要	否	●/●
例	細野自治会館	南区●●●-●-●	細野自治協力会	中川会長	○OK	NG	●/● 電話で確認済	●●さん	●●-●●●-●●●●	○要	否	●/●
1												
2												
3												
4												
5												
6												

▲ ベース資料①(許諾リスト)

停留所の設置について

【停留所の配置について】

確認事項③：「停留所の間隔と設置場所は安全で利用しやすい場所か」

図面に示した停留所の位置案を確認して下さい。

(ポイント)

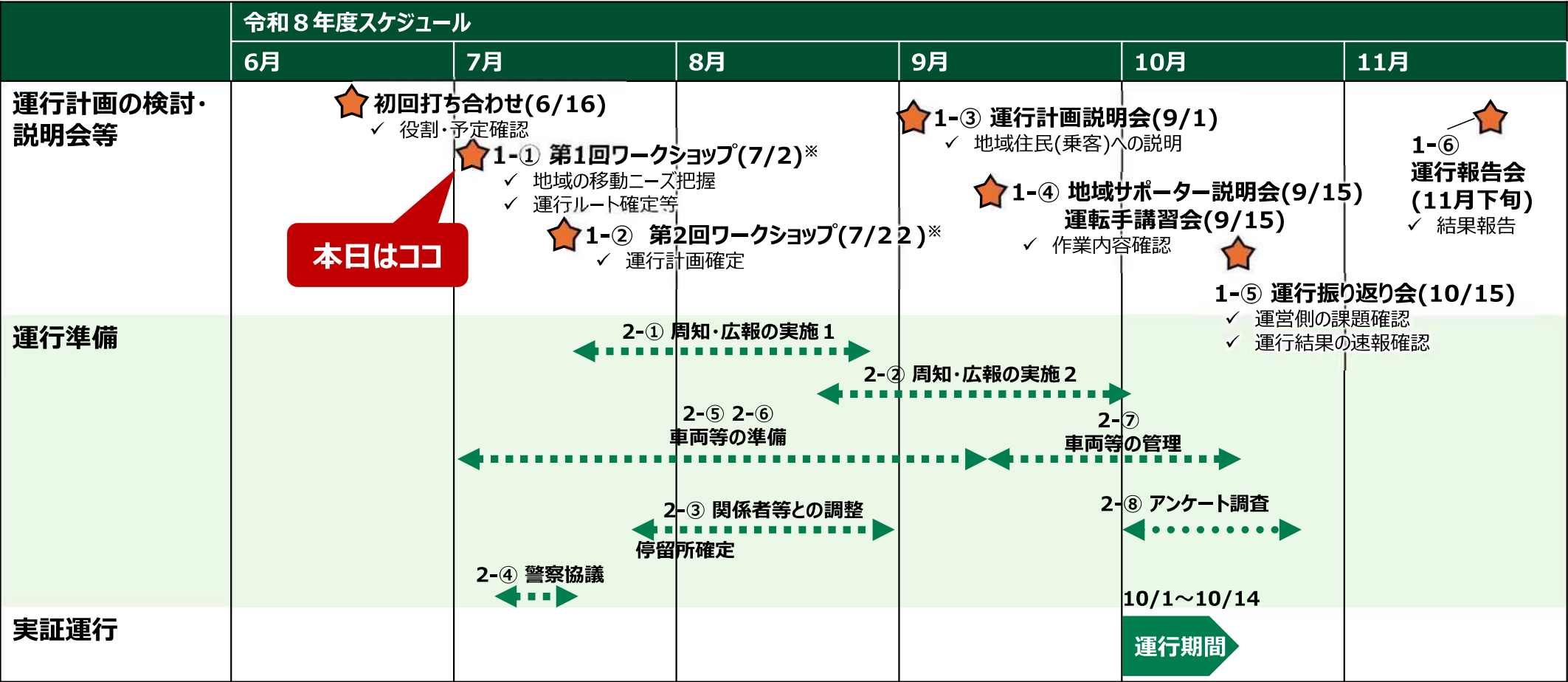
停留所の間隔：ご提案のルート・目的地の間で150m程度の間隔を想定

安全面：交差点、すれ違い、利用者の待機場所を考慮

貼り付けられる場所かどうか：工作物などの有無、視認性を考慮

あくまでも、一案ですので、地域の方が利用しやすい場所を再度確認して下さい

■ 令和8年度 実証実験概要 スケジュール案(大谷口地区)



本日はココ

※ワークショップ＝運行計画具体化会議

今後について

■第2回ワークショップ(7/22) 実施内容について

1. 停留所の許可状況の確認
2. ボランティアの募集状況の確認
3. 運行計画の確定
(運行日、ルート、停留所、ダイヤ)
4. 今後について

今後について

■周知(お知らせ)について

全戸配布用の資料が整いましたので、第2回ワークショップ(7/22)までに各自治会へお渡しします。※ダイヤ等の詳細が記載されたチラシは8月に別途作成予定

～全戸配布～
対象:周辺11自治会
配布予定数 4,268部

～施設配架～
公共施設、民間施設

※どの施設に配架するかを今後調整させてください。

令和8年度 グリーンスローモビリティ実証実験



運賃 無料
乗車定員 5名
グリーン スローモビリティで お出かけしませんか

高齢化の進展に伴い、今後移動に困難を抱える方の増加が見込まれます。一方で、移動サービスの担い手となる運転手は全国的に不足しており、その確保が課題となっています。このような状況を踏まえ、今後は、地域における支えあいの重要性が一層高まっています。本実証実験では、買物やバス停までの移動等の支援を目的として、地域主体による取り組みを実施し、導入効果や運営上の課題を把握するとともに、今後の事業のあり方について検証を行います。

グリーンスローモビリティ(グリスロ)とは
時速20km未満で公道を走行できる電動車を活用した移動サービスです。

■運行期間(予定)
令和8年 10月1日(木)～10月14日(水)
※後日、改めてチラシで詳細をお知らせします

■実施主体
代表:細野自治協力会
(担当:中川会長)



さいたま市 都市局 048-829-1056
交通政策部 交通政策課 (受付時間 平日 9:00～17:00)

グリスロ実証実験のHPはこちら
※専用ダイヤやダイヤなどの詳細は随時HP等に掲載予定

グリスロの利用方法
事前予約は不要です。各ルートの停留所前でお待ちください。

停留所の例
細野自治会館

ご利用される皆様へ

- ・運賃は無料です。
- ・乗車定員は5名です。
- ・満員時は乗車できない可能性がございますので、繰り合いのご利用をお願いいたします。
- ・荒天時は運休する場合がございます。
- ・利用環境や車内スペースによる制約がございます。(車椅子利用不可、車体の後部カゴに収まらない大きな荷物のお持ち込みはご遠慮ください)



低床で乗り降りがスムーズ

ご利用基
ご利用いただける方
ご利用いただけません

昨年年度ご利用いただいた方のご意見

買物の際、荷物が多い時はとても便利でした。

車内外の楽しい会話が自然に始まり癒しの空間でした。

このチラシは6,000部作成し、1部あたりの作成費用は(※)40円です。